

講演「フリースクールの現状と今後の連携について」

講師 フリースクール「ハートフルウェーブ」代表 佐伯 和可子 氏

<ハートフルウェーブについて>

○ハートフルウェーブのキャッチコピー

「世界一自分らしくいられる学校」

○ハートフルウェーブの各事業と対象

- (1) フリースクール：不登校の小学生から高校生
- (2) 家庭教師：小学生から高校生
- (3) 通信制高校サポート校：大分そらいろ高等学院
在籍高校生
- (4) 学童保育、バケーションスクール：小学生、
フリースクールの兄弟児、または卒業生
- (5) こんにちはごはん：不登校・引きこもりの小中
高校生



<ハートフルウェーブの取組>

- 「哲学会」大人に臆せず、自分の意見を自分の言葉で言えるようになる。そのために書物を読み込む。
- 「新聞会」目と耳からの情報を整理し、自分が物事を考える際の基準とする。
- 「聞き取り力」一定時間集中して人の話を聞いて、メモをする力を身に付ける。
- 「説明力」目の前にある事柄を言葉だけで相手に伝えることができるようになる。
- 「森林セラピー」大人の環境や自然を味わう豊かさを身に付ける。
- 「100km ウォーク」徐々に歩く距離を延ばして、
周囲の人間のペースに合わせて歩く協調性を身に付ける。
- 「修学旅行」集団行動、集団生活が行えるようになる。
- 「海外研修」実際に異文化に身を置くことでグローバル感覚を身に付ける。
- 「キャンプ」香々地少年自然の家や姫島等で自然豊かな環境で環境を生かした活動をする。
- 「ゴミ拾い」環境に関心を持つ機会を得る。回数を重ねるごとに拾うゴミの量が増える。
- 「チーム対抗の取組」教え合い学習をするなど普段話すことのないメンバーとのコミュニケーションを図る。
- 「フリースクール『すずしろ』との合同イベント」フリースクールの特徴を生かした交流。



○「書道」静かに心を落ち着かせる機会を得る。
字と向き合い、言葉の大切さに気付く。

○「文化祭」一年の集大成として、自分の得意分野での表現を行う。

○「琴」楽器をさせたい。周りのテンポにあわせることができるようになる。

○「おりがみ」指先の強弱や、周囲の人に言葉で説明することができるようになる。

○「学校体験プログラム」今年度佐伯市立直川中学校において、実施予定。



<自立支援寮の取組について>

○寮のモットーを掲示して、子どもたちに徹底する。

○朝ごはんは、オーガニック野菜中心で手作り。

<卒業生との連携について>

○卒業生との連携を大切にしている。

○卒業生その後会・修学旅行のサポート



<今後の連携について、お願いしたいこと>

○ハートフルウェーブに通う児童生徒の担任の先生との連携を強化したい。→各中学校の先生と月に一回の報告会を行っているが、個別では解決しづらい課題があるので、連絡協議会等の組織ができるとよい。

○フリースクールに通うことが高校受験時にいい方向で影響を与える仕組みを作りたい。→「学校でなくてもせめてフリースクールに通おう」という意欲になるような措置がほしい。

○県下の不登校生の横のつながりを作りたい。

○発達や知的な遅れがあり、学力が落ちている子への学習サポート体制を作っていきたい。
→学習に関する自信があれば、不登校を防げ、また不登校になったとしても進学を視野に入れることができる。

○学校の先生がフリースクールを見学する機会を作りたい。→講演会や催し物などの際にお知らせをしているので、積極的に学校の先生に足を運んでもらいたい。

○個人や民間で情報を集めることには限界があるので、不登校生支援に関わる研修会に加わりたい。